

会 議 録

1 会議名

平成30年度第6回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

旧直江津銀行について（公開）

【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成30年8月24日（金）午後6時00分から午後6時55分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、
青山義一、磯田一裕、伊藤邦雄、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、
小林克美、坂井芳美、田中美佳、中澤武志、町屋隆之、丸山朝安
（欠席3名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任
文化振興課：岩崎課長、大友副課長、松永係長、柏村主任

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：竹内副会長、田中委員に依頼
議題【報告事項】旧直江津銀行について、担当課へ説明を求める。

【文化振興課：岩崎課長】

- ・挨拶
- ・資料No.3「旧直江津銀行の耐震改修工事について」に基づき説明

【青山恭造会長】

説明に対し、意見や質問等がないため、終了とする。

— 文化振興課 退室 —

次に【協議事項】平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.1「平成30年度 直江津区地域活動支援事業（追加募集）提案書 受付一覧」
に基づき説明

【青山恭造会長】

それでは、これから全体協議を行う。

最初に「No.1 直江津小学校区地域安全・防災教育推進事業」について、質疑を求める。

【伊藤委員】

以前に、一小学校区での防災関係の提案事業が不採択になったことがあった。同じようなことにならないかと危惧している。

【青山恭造会長】

防災の関係で、一町内で行った事業を他町内にも参考にしてもらい拡げていってもらおうということで採択にした事例もあるので、一小学校区で実施したものを、ほかの小学校区でも行ってもらい、拡げて行ってもらえればという考え方もあると思う。各委員の捉え方もあると思うので、分からないことは質問票で出していきたい。

【中澤委員】

提案書の補足になってしまうかもしれないが、立地条件の問題もある。直江津中学校や直江津小学校が避難所になっているが、直江津小学校は避難者の対応をするため屋上に手すりを設けた。近隣町内も直江津小学校へ避難するように設定したが、合同の避難訓練を実施するまでに至っておらず、実践できていない。

【増田副会長】

事業の対象者が直江津小学校の児童と保護者及び地域住民となっているが、地域住民の皆さんへはどのように周知するのか。その分の費用は提案内容に入っていない。

【小池係長】

当事業に関する会議を関係町内会長と一緒にいったということは聞いており、周知については各町内会で行うものと考えられるが、周知方法までは確認していない。

【青山恭造会長】

次に「No.2 認知症にやさしい地域づくり in 直江津事業」について、質疑を求める。

【磯田委員】

事前協議の必要性がなしとなっているが、公道を走ると思うので警察等との事前協議の有無の確認を質問票でしたほうが良いのではないかと考えている。

【小池係長】

警察等と事前協議を行っているかまでは確認していない。

当事業は全国の各地域をタスキで繋いでいくイベントで、新潟県内で1つの実行委員会がある。今回の提案はイベントをきっかけにし、来年の2月に講演会を行いたいという事業なので、「RUN伴」自体に掛かる経費を提案しているのではないということを理解していただきたい。

【久保田委員】

県全体の事業となると、直江津区だけが講演会を行ってどのような意味があるのか。県の事業であれば講演会等も県から費用が出るのではないのか。

【小池係長】

県主催ではなく、県内にある民間の実行委員会が主催しているイベントである。

【久保田委員】

そうすると、各地域で予算を付けて開催するということか。

【滝澤センター長】

今回の提案はRUN伴に対する経費ではなく、講演会を行うために必要な経費をお願いしたいという提案である。RUN伴に併せて認知症に対する地域の皆さんの理解を得てもらえるようなリーフレットの作成や講演会を開催するということなので、走る部分とは別で考えていただきたい。

【久保田委員】

承知した。

【増田副会長】

今回提案されている「上越オレンジサポーター」という団体名を初めて聞いた。どのような団体なのか。

【小池係長】

平成27年9月にRUN伴を新潟県で初開催したが、その際にボランティアとして参加した上越市在住の方々が「上越オレンジサポーター」という組織を作り活動している。

【丸山委員】

走るルートを見ると下門前のスターバックス上越店がスタートとなっている。どこからか別の人が走ってきてその場所でタスキをもらうのか、スタート地点なのかが分からない。

そして、提案自体は非常に良いことであり、他地区でも行っていただき素敵なまちになれば良いと思っているが、スタート地点や中継所に直江津区以外の地域もある。それは良いのか。

【小池係長】

スターバックス上越店からスタートなので、そこまで誰かが走ってくるというわけではない。ただ、RUN伴新潟自体は9月1日（土）から始まり、上越エリアは9月15日（土）に行われる。ゴール地点はふもとクリニックだが、次のエリアのランナーがふもとクリニックに来てタスキを受け取るのではなく、別の日に次のエリアでタスキをかけてスタートするというイベントである。

【今川委員】

他区で同様の提案は出されていないのか。

【小池係長】

直江津区だけである。

【小林委員】

今回の提案は講演会とRUN伴の際に配布するリーフレットの提案である。イベント自体は関係ないのではないか。

【滝澤センター長】

そうである。スタート地点は有田区だが、イベント自体は実行委員会が主催となつて行う。

【竹内副会長】

雨が降った場合のルートの変更はあるのか。リーフレットは沿道の方々にも配布するのか。

【小池係長】

雨天時の対応は確認していない。リーフレットはRUN伴当日に沿道の方々等に配布する予定である。

【青山義一委員】

他区でもRUN伴を開催するのか。

【小池係長】

ルート等は把握していないが、高田でも行うと聞いている。

【青山恭造会長】

ほかにも疑問点等があれば質問票で出していきたい。

次に「No.3 なおえつ和太鼓フェスティバル事業」について、質疑を求める。

【増田副会長】

鼓童の出演料が54万円になっているが、内訳が分からない。何人出演するのか。

【小池係長】

出演者は5名程度と聞いているが詳細までは確認していない。次回までに確認しておく。

【中澤委員】

こういうものは交通費や宿泊費が全て込みの値段で請求されるのが慣例なのではないか。

【増田副会長】

では、人数だけでも確認していきたい。

【磯田委員】

鉄道まつりの一環として和太鼓フェスティバルを行うということだと思うが、鉄道まつりには市から補助金が出ている。それでも提案は可能なのか。

また、これまで直江津区では地域活動支援事業として、地域で活動している団体に演奏を披露してもらっているが、今回、第一線で活躍しているプロの方々を招へいする意義は何なのかと思う。それに、無料のイベントになっているが、受益者負担の考えはないのか。

【滝澤センター長】

補助金についてだが、イベント自体に市から補助金が出ていると二重の補助金になるため地域活動支援事業の補助金は使えないことになる。鉄道まつりは実行委員会で行っており、その鉄道まつりと連携し、別の団体が別の事業として直江津を盛り上げたいとのこと。

鉄道まつりとは連携するが、あくまでも別の事業であることから提案は可能である。

【青山恭造会長】

私からも確認だが、今回の追加募集の採決が9月18日（火）に決まる予定である。和太鼓フェスティバルの実施日が10月13日（土）だが間に合うのか。

【小池係長】

提案者は採択審議のスケジュールを承知した上で提案してきているので問題ない。

【中澤委員】

聞いたところによると、鼓童に関わっているメンバーの中に直江津出身の女性が在籍されているとのこと。今まで新井のフェスティバルにはつながりがあり、鼓童の方々も演奏していたが、直江津には繋がりがなかった。今回、繋がりのきっかけとなるものはないかと考えていたところ、当提案になったのだと聞いている。

【小林委員】

提案書に付いている会場図が非常に分かりづらいが、これで人が集まるのか。

【小池係長】

提案書に添付してある会場図は提案用の資料である。チラシ等は分かりやすいものになると思う。

【青山恭造会長】

では次に「No.4 句碑文学碑の銘板取替整備事業」について、質疑を求める。

【丸山委員】

文字が見えにくくなっているため再度、同じ文言で修復したいのか。それとも文言を変えたいから新たに造り直したいのか。

【増田副会長】

アクリル板が劣化しているため耐久性のある素材に替えたいということではないか。修復している際に文章の一部を見直すことがあるかもしれないが、すべてを見直すということではないと思う。

【青山恭造会長】

ほかに質疑がないため、全体協議は終了とする。

次に今後のスケジュールについて、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・今後のスケジュールについて報告
- ・次回協議会：9月11日（火）午後6時から

【増田副会長】

1次募集の際に提案額が配分額より多かったので、1割減額になった場合どうするのか、という質問を全提案者へしてもらったが、滝澤センター長から「提案を受け付ける際に事務局から提案者へ説明しているので、あえて質問する必要はないのではないか」という話があった。

【滝澤センター長】

1次募集の際、提案額が配分額を上回っていたので、すべての事業が採択になれば一律減額することになる状態であった。提案者へも減額になった場合はどうするのかという質問をさせていただいたが、提案者からは「減額されても仕方ない、それは委員の判断に任せるが、私たちは必要だと思って提案している。それを1割減額しても事業を実施できるかと聞かれても、事業が実施できるのであれば最初から採択審議の前に1割減で提案すると思うので回答が難しい」という意見をいただいた。

【町屋委員】

受付の時に事務局で対応してくれているのは十分承知しているが、中身によっては必要な部分も出てくるのではないかと。

【滝澤センター長】

採択審議の前に全体の提案額が配分額を上回っているため一律減額になるかもしれないと言われても、提案者は困惑されると思う。

【青山恭造会長】

採択審議の都度、提案事業の内容により判断していくこととする。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。